

公開講演会

世界を歩くアフリカ人ジャーナリスト／日本人文化人類学者

— アフリカ、ヨーロッパ、日本 —

ウマル・バリーさん（在仏アメリカ大使館）

阿毛香絵さん（フランス社会科学高等研究院）

2018年6月26日（火）12:50-14:20

愛知県立大学長久手キャンパス B208 講義室

ギニア出身でフランス国籍をもつジャーナリスト、ウマル・バリーさんと、セネガルで現地調査を続ける文化人類学者阿毛香絵さんのご夫妻を招いた講演会を開きます。国境・大陸・言語の違いをこえて世界で活躍する仕事の可能性と意義について学びます。

- 公開で開催されます。参加無料、申し込み不要。どなたでも自由にお越しください。
- ウマルさんはフランス語／英語で講演し、阿毛さんが日本語への通訳を兼ねます。

講師略歴

◆ ウマル・バリー（Oumarou BARRY）さん

ギニア出身、フランス・ソルボンヌ大学英語科卒業後、ジャーナリストとして活躍。フランスを拠点に、アフリカの約50カ国で放映されるニュース番組やドキュメンタリーの制作を手掛けるほか、BBC、国連機関、EUなどの事業に携わる。現在、在仏アメリカ大使館のメディアスペシャリストとして、アフリカ関係を担当。



◆ 阿毛香絵（あもう・かえ）さん

フランス国立社会科学高等研究院アフリカ研究所所属、同日仏財団アジア・アフリカプログラム研究員。慶応義塾大学大学院およびセネガル国立ダカール大学社会学部大学院修了。セネガルにおける高等教育と近代化、イスラームについて研究を進める。主な専門は、西アフリカにおける教育とイスラーム、アフリカにおける近代政治と社会、西アフリカの都市化、メディアの発展に伴う若者文化、アジア・アフリカ間の新たな関係性。

※本講演会は、愛知県立大学地域連携事業・アジア・新興国プログラム連続セミナーの一環として行われています。

主催：愛知県立大学多文化共生研究所 共催：愛知県立大学地域連携センター

協力：愛知県立大学外国語学部アジア・新興国プログラム

連絡先：tabunka[at]for.aichi-pu.ac.jp（愛知県立大学多文化共生研究所） 企画・コーディネーター：亀井伸孝